



## 名誉会員表彰を受けて

山下 協子

去る12月4日に開催された第35回大阪府作業療法学会の閉会式において、大阪府作業療法士会名誉会員の表彰を関本会長からいただきました。クリスタルの盾と携帯用の名誉会員証です。当会の発展に寄与したということでもいただいたのですが、どれだけ貢献できたかと問われると、些か心許ないですが、会員の皆様からのご褒美だと思っています。有難うございます。

私のOT歴は、日本作業療法士協会関西支部に始まり、近畿連絡協議会、そして1985年設立の大阪府作業療法士会会員となりました。当会の理事になったのは2003年からだと思います。2018年に監事を退任するまで、多くの経験をさせていただきました。大勢の仲間に出会い、また他職種、他団体の会合等での相互理解を深める機会を得たことは私の大きな財産になっていると思います。

理事になった当時は、100人少々で発足した当士会が7～800人と増えてきた時代でした。お互いの顔が見えにくくなってきた時期に、私が特に大切だと考えたのは、会員相互の連帯や士会への積極的な参加の促進と、人数が



増えつつある今こそ作業療法の社会的認知を高めることでした。具体的には、二次医療圏を基礎とする各ブロックの立ち上げと外部団体への参加、取り分けタイミング良くお誘いを受けたバリアフリー展への参加でした。この2点は、自分なりにちょっと頑張ったと思います。かつて各ブロックのリーダーとして一緒に活動いただいた方の名前を、士会の役員や部局員の中に見つけると、とても嬉しく頼もしく思っています。2021年10月21日現在2640名と更に大きくなりました。地域ケア会議や認定審査会等への職能としての協力要請もますます高くなっていくでしょう。若い人々の活躍と発展を願っています。

隠居の身ですが、名誉会員証をもって府学会に現れたときはよろしく願いいたします。

